

別紙2 参考様式

既存の人・農地プランの区域の全部又は一部の区域であって既に実質化していると判断する区域

対象地区名	集落	区域内耕 地面積 (ha)	近い将来の農地の受け手①		近い将来の農地の出し手①		①及び② の面積合 計(ha)	備考
			中心経営体	現状の経営面 積合計(ha)	農業者数	貸付等予定面 積合計(ha)		
大滝	檜崎	11.2	1	11.2	0	0.0	11.2	

別紙3 参考様式

実質化の取組工程表

対象地区	集落名	平成31年(令和元年)				令和2年			
		4月	7月	10月	1月	4月	7月	10月	1月
多賀	多賀			①②	③④				
多賀	八重練			①②	③④				
多賀	栗栖			①②	③④				
多賀	木曾			①②	③④				
多賀	久徳			①②	③④				
多賀	月之木			①②	③④				
多賀	中川原			①②	③④				
多賀	土田			①②	③④				
多賀	敏満寺			①②	③④				
多賀	猿木			①②	③④				
大滝	富之尾			①②	③④				
多賀	尼子						①②	③④	
多賀	四手						①②	③④	
多賀	大岡						①②	③④	
多賀	一円						①②	③④	
大滝	川相						①②	③④	
大滝	藤瀬						①②	③④	
大滝	霜ヶ原						①②	③④	
大滝	樋田						①②	③④	

①アンケートの実施、②地図化による現況把握、③話し合い、④プランの取りまとめ手続き